

「五三会」創立 40 周年記念パーティー参加の皆様へのお礼のことは

梅雨入りとはいえ、所により空梅雨、所により豪雨などなど地球規模の異常気象を表わすような天気が続いていますが、皆様方におかれましてはその後もご活躍のこととご推察申し上げます。

この度のパーティーは、鶴衛学園理事長・総長をはじめご臨席の皆様、宴を盛り上げていただいた現役「匠会」役員など関係各位のご協力により、つつがなく、また盛会のうちに終えることができました。私も実行委員会委員長といたしまして、心から御礼申し上げます。仔細につきましては、実行委員会並びに横山企画委員報告がございますので省略させていただきますが、一参加者といたしましても会場のにぎわいの中に身をゆだねながら、学園理事長・総長のご挨拶にありました、母校の歴史の中で培われた「絆」の大切さを噛みしめ、また、恩師である椋代先生の豊饒たるお姿に「生涯現役」の心意気を背中で教えていただきました。

私どもを取り巻く経済環境は「未曾有」「世界規模」のフレーズの中、先の見えない状況がまだまだ続くものと思われまふ。このような中であればこそ「大変さ」だけに捕らわれるのではなく「自己」や「事業」を見直す好機と捉え、「明日への飛翔」の契機となす必要があるのではないのでしょうか。私事ではありますが、昨年、還暦にあたり自分にとっての今からは「集大成」ではなく「挑戦」を銘記すべきと決心いたしました。そして、この度の企画に携わる機会を与えていただき、あまつさえ、会場での熱気となごみの波動に浸ることができた時に、母校とりわけ「五三会」の人と人のつながり、鶴学園理事長・総長の言われた「絆」こそ私の「挑戦」を支える源なのだとは再認識できました。ご出席の皆様も同様の想いを受け止めていただけたのではないのでしょうか。

とは言え、本企画の未熟さや凡庸さなどにお叱りの声があろうかと存じます。そのことに関しては伏してお詫び申し上げるとともに、次回がより素晴らしく、より充実したものとなることを祈念することでお許しいただきたいと思ひます。名ばかりで凡愚な委員長でしたが、ご参加いただいた皆様、そして実行委員をはじめ五三会役員、匠会役員の熱意と労苦に支えられ大任を果たすことができました。改めまして、心から御礼申し上げます。

母校広島工業大学の永くなる発展と「五三会」の隆盛、会員、卒業生のご健勝とご多幸を祈念するとともに、創立 45 周年記念パーティーでまたお会いできますことを願って御礼とさせていただきます。誠にありがとうございました。

「五三会」創立 40 周年記念パーティー

実行委員会委員長 馬場 富次郎

1971 年卒（3 期）